

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和04年01月18日

計画の名称	田原市における公共下水道事業計画の推進																				
計画の期間	平成31年度 ～ 令和05年度（5年間）										重点配分対象の該当										
交付対象	田原市																				
計画の目標	生活排水の汚濁負荷量の増大に対し、三河湾をはじめとする公共用水域の水質改善を図るため、公共下水道事業を推進することにより、快適な市民生活を確保する。 下水道を含む汚水処理の広域化・共同化を推進することにより、効率的な汚水処理の促進に資する。																				
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		1,645		A	1,527		B	0		C	118		D	0		効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C＋D）		7.17		%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初	H33末	H35末
1	田原浄化センター2系の高度処理化改築の進捗率を0% (H31当初) から100% (H35末) にする。 田原浄化センター2系列の高度処理化改築の進捗率 高度処理化改築を実施した系列数/高度処理化未対応の系列数	0%	100%	100%
2	下水道における整備面積の促進率を94.8% (H31当初) から100% (H35末) に増加させる。 下水道の整備面積の促進率 (既整備面積(ha)+事業整備面積(ha)/(下水道法による事業計画面積(ha))	95%	100%	100%
3	し尿処理場(田原市衛生センター)を下水道処理場と統廃合し、し尿処理場数を現状の1施設(H31当初)を0(H35末)にする。 し尿処理場の統廃合数 し尿処理場統廃合実施施設数/現状(H31)のし尿処理施設数	0%	0%	100%
4	平成30年度に公共下水道に統合する農業集落排水処理場2施設(H31当初)を0(H35末)にする。 統合した農業集落排水処理場の撤去数 撤去完了処理場数/H30年度中に統合が完了した処理場数	0%	100%	100%
5	赤羽根浄化センター処理水の放流能力向上のための放流渠改築の進捗率を0%(R1当初)から100%(R5末)にする。 赤羽根浄化センターの放流渠改築の進捗率 放流能力向上の改築をした放流渠数/放流能力向上に未対応の放流渠数	0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	田原市	直接	田原市	終末処 理場	改築	田原処理区（田原浄化セ ンター）（水質保全）	2系高度処理化改築	田原市	■					370		－
	A07-002	下水道	一般	田原市	直接	田原市	管渠（ 污水）	新設	赤羽根処理区（赤羽根） （未普及）	污水管 L＝1.0km	田原市		■	■			100		－
	A07-003	下水道	一般	田原市	直接	田原市	終末処 理場	新設	赤羽根処理区（赤羽根浄 化センター）	し尿受入施設 新築（土木 建築、機械電気、場内整備）	田原市	■	■	■			960		－
	A07-004	下水道	一般	田原市	直接	田原市	終末処 理場	－	田原処理区（吉胡・波瀬 ）	農業集落排水処理場解体撤去	田原市		■	■			86		－
		施設廃止																	
	A07-005	下水道	一般	田原市	直接	田原市	終末処 理場	改築	赤羽根処理区（赤羽根浄 化センター）	放流渠 改築	田原市		■	■			11		－
										小計						1,527			
										合計						1,527			

C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	C07-001	下水道	一般	田原市	直接	田原市	－	－	田原市衛生センター	建物等解体撤去	田原市					■	■	118		－
		し尿処理場の機能を赤羽根浄化センターに移転することにより、田原市衛生センター（し尿処理場）を廃止することができ、施設統合による効率的な汚水処理の運営を図ることができる。																		
		施設廃止																		
											小計							118		
											合計							118		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

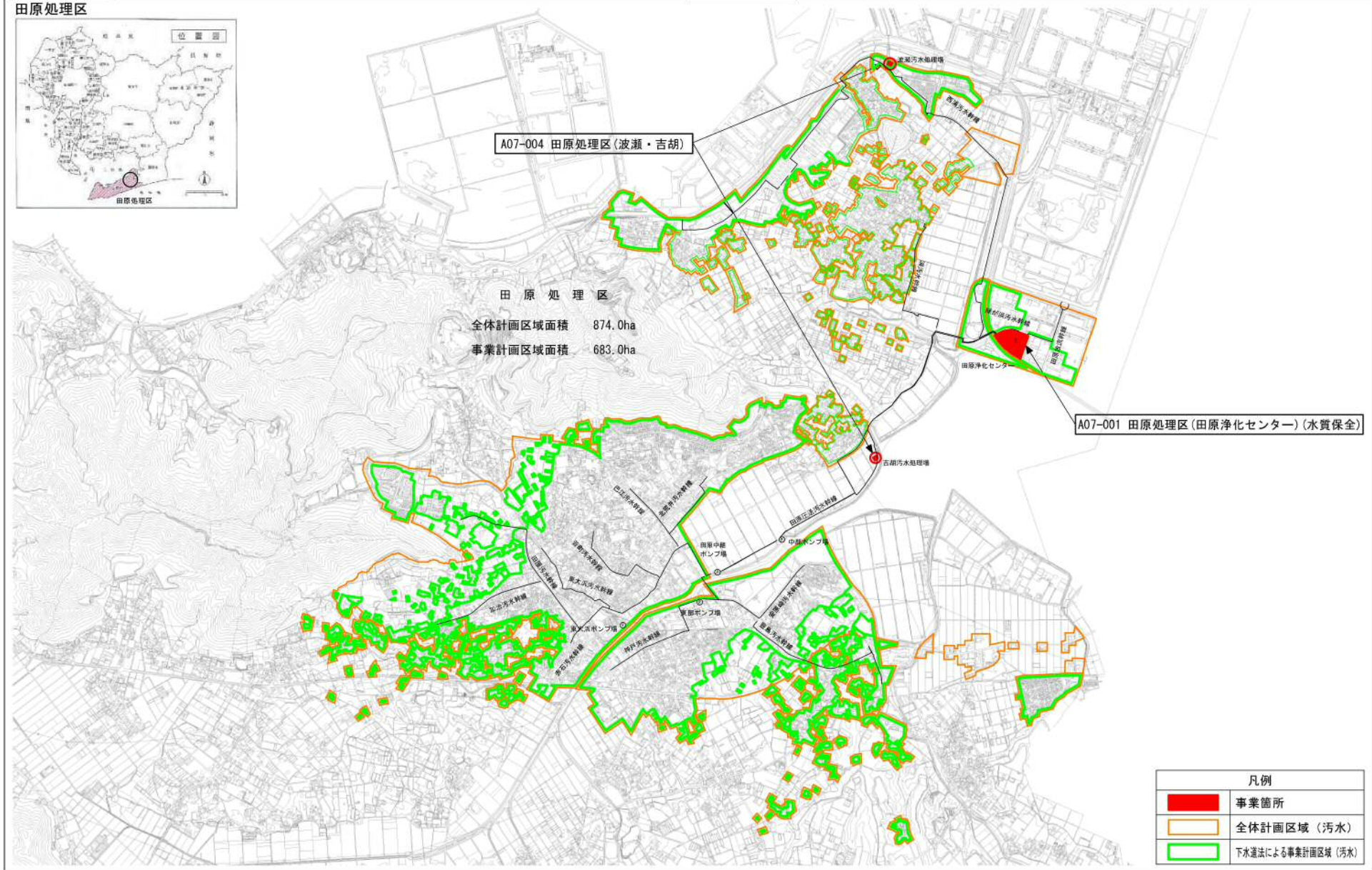
	H31	R02	R03		
配分額 (a)	209	306	110		
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	209	306	110		
前年度からの繰越額 (d)	0	122	116		
支払済額 (e)	87	312	226		
翌年度繰越額 (f)	122	116	0		
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 田原市における公共下水道事業計画の推進

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画（愛知県汚水適正処理構想、渥美湾島流域別下水道整備総合計画、田原市総合計画）と適合している。	○
I. 目標の妥当性 田原市下水道事業計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 各種事業計画が策定され、適合している。	○
I. 目標の妥当性 各種法令（都市計画法、下水道法等）を遵守している。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指数・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指数・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指数・数値目標が分かりやすいものになっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 長期的収支計画の見通しが健全と判断される。	○
III. 計画の実現可能性 関係機関との協議、住民等の合意形成等を踏まえて事業実施の確実性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 その他、事業実施のための環境整備が図られている。	○

計画の名称	田原市における公共下水道事業計画の推進		
計画の期間	平成31年度 ~ 平成35年度 (5年間)	交付対象	田原市

[illegible]

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	田原市における公共下水道事業計画の推進		
計画の期間	平成31年度 ～ 平成35年度（5年間）	交付対象	田原市

赤羽根処理区

